

第1期甲斐市こども計画

「～全てのこどもと若者の“かいてき”な成長と活躍を創出するまち～」

— 令和7年度～令和11年度 —



甲斐市

1 こども計画とは

全てのこども・若者がひとしく健やかに成長し、
将来にわたって幸せな状態で生活を送ることができる
「こどもまんなか社会」をめざす計画です！

わが国の令和5年の合計特殊出生率は1.20、出生数は約73万人と、過去最低の水準となり、少子化が進行し続けています。国においては、少子化対策として、平成15年に「次世代育成支援対策推進法」を、「子ども・子育て関連3法」を平成24年に制定しました。さらに、この関連3法に基づき、子育て支援を「量」と「質」の両面から社会全体で支えるために「子ども・子育て支援新制度」を平成27年度から施行しさまざまな取組を展開してきましたが、少子化・人口減少には歯止めがかかっていない現状となっています。

甲斐市においては、令和2年3月に「第2次創甲斐教育推進大綱」を策定し、甲斐市における教育の一層の振興を図るために、さまざまな施策に取り組んできました。また、同じく令和2年3月に「次世代育成支援地域行動計画」を継承した、「第2期甲斐市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、子ども・子育てに関する施策を推進してきました。

この度、令和6年度をもって「第2期甲斐市子ども・子育て支援事業計画」の計画期間が満了となります。

今後は、国や県の方向性を踏まえて、子ども・子育て支援事業計画、次世代育成支援行動計画、こどもの貧困対策推進計画、子ども・若者計画を包含する「第1期甲斐市こども計画」を策定します。



2 計画の主な対象

本計画は、妊娠期を含めた0歳から18歳までのこどもと子育て世帯、甲斐市で活躍し、未来を担うおおむね39歳までの若者が主な対象です。

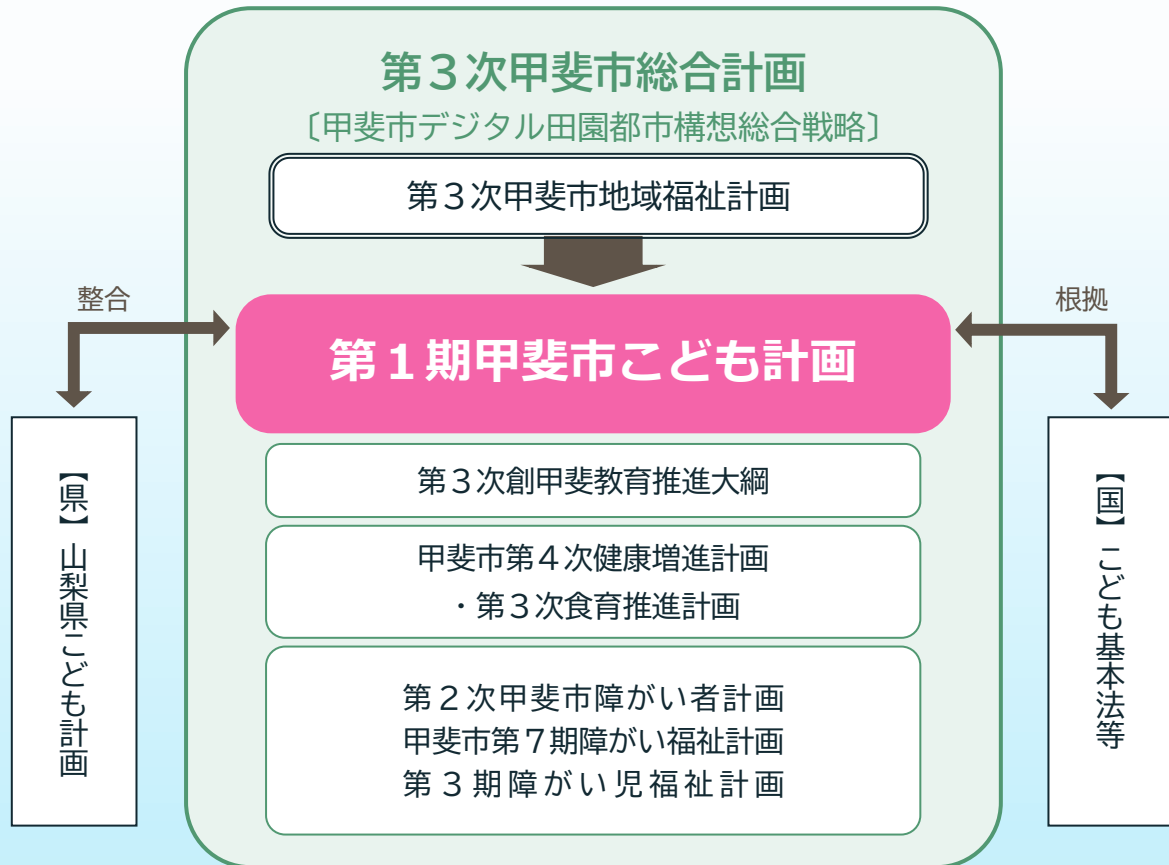
乳幼児期	学童期	思春期	青年期	ポスト青年期※
義務教育年齢に達するまで	小学生年代	中学生年代から おおむね18歳まで	おおむね18～29歳	おおむね30～39歳
こども				
		若者		

※ポスト青年期：青年期を過ぎ、大学等において資質・能力を養う努力を続けている者や円滑な社会生活を営む上で困難を抱えた、40歳未満の者

3 計画の位置づけ・他計画との整合

本計画は、「こども基本法」第10条に規定される「市町村こども計画」です。なお、本計画には「子ども・子育て支援事業計画」「次世代育成支援地域行動計画」「こどもの貧困対策推進計画」「子ども・若者計画」の4計画を包含しています。

また、上位計画である「第3次甲斐市総合計画」や、「第3次甲斐市地域福祉計画」、「第3次創甲斐教育推進大綱」をはじめとする甲斐市の各種関連計画と整合性をとりながら推進していきます。



4 計画の期間

本計画の期間は、令和7年度から令和11年度までの5年間です。

令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)	令和10年度 (2028)	令和11年度 (2029)
※R2~R6 第2期甲斐市 子ども・子育て支援事業計画							
			第1期甲斐市こども計画				

5 基本理念

全てのこどもと若者の “かいてき”な成長と活躍を 創出するまち



甲斐市に生まれたこども・若者を地域全体で育てるとともに、地域で育てたこども・若者が将来にわたって甲斐市で自分らしく活躍することを願って、本計画の基本理念を「全てのこどもと若者の“かいてき”な成長と活躍を創出するまち」とします。

6 施策体系

基本目標1

全てのこども・若者を
尊重し、甲斐市の未来を
担う人材へと育てる
【こども・若者への支援】

- 1) 子ども・子育て支援給付及び地域子ども・子育て支援事業の充実
- 2) 「創甲斐教育推進大綱」に基づく教育の展開
- 3) 支援を必要とするこども・若者を支える環境づくり
- 4) こどもの貧困対策の推進

基本目標2

甲斐市の未来を担う
こども・若者を育てる
保護者を支える
【保護者・子育て世帯への支援】

- 1) 結婚・妊娠・出産・子育てへの切れ目ない支援の展開
- 2) 親と子の健やかな成長の確保
- 3) 経済的支援の充実

基本目標3

安心してこども・若者が
成長できる環境を整備する
【地域づくり】

- 1) 幼児教育・学校教育環境の整備推進
- 2) 相談支援・情報提供体制の充実
- 3) 地域ぐるみで展開する子育て支援策の充実
- 4) こども・若者を犯罪・事故から守る環境づくり

7 施策の推進

基本目標1 全てのこども・若者を尊重し、 甲斐市の未来を担う 人材へと育てる 【こども・若者への支援】



甲斐市で暮らす全てのこども・若者が、乳幼児期から質の高い教育・保育を受けられるとともに、多様な学習機会・体験機会を通じて豊かな人間性を身につけることができる環境を構築します。

また、全てのこども・若者が、自らの生まれ育った環境にかかわらず自分らしく生活を送ることができるよう、こども・若者が抱えるさまざまな悩みや不安を受け止め、必要としている支援を提供する体制を整備していきます。

(1) 子ども・子育て支援給付及び地域子ども・子育て支援事業の充実

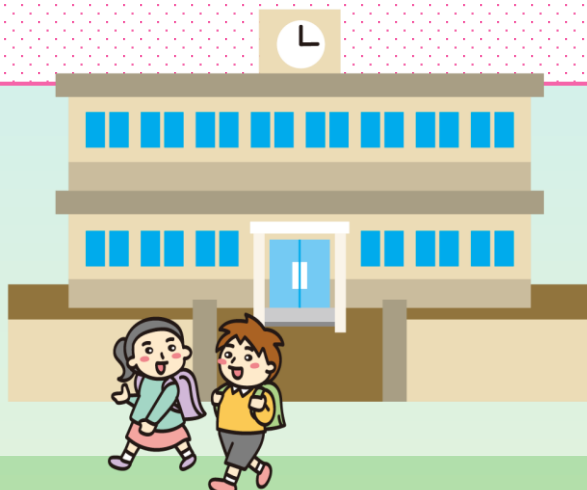
(2) 「創甲斐教育推進大綱」に基づく教育の展開

- ① 幼児教育・学校教育の充実
- ② 多様な体験活動・交流活動の推進
- ③ 地域や社会での活躍に必要な知識の普及

(3) 支援を必要とするこども・若者を支える環境づくり

- ① 児童虐待防止対策の充実
- ② 障がい児施策の充実
- ③ ひとり親家庭への支援の充実
- ④ その他支援を必要とするこども・若者への支援

(4) こどもの貧困対策の推進



基本目標2 甲斐市の未来を担うこども・若者を育てる保護者を支える 【保護者・子育て世帯への支援】

未来を担うこども・若者の健やかな成長の実現においては、未来を担うこども・若者本人に対する支援だけでなく、そのこども・若者を育てる保護者・子育て世帯に対しての支援も充実させることが必要不可欠です。

保護者一人ひとりが安心感をもって子育てをすることができるよう、結婚・妊娠・出産・子育てへと続く、若者が親になるプロセスに対して切れ目のない支援を図ります。加えて、親と子の双方が、心身ともに健康的にすごすことができるよう母子保健の充実を図ります。



- (1) 結婚・妊娠・出産・子育てへの切れ目のない支援の展開
- (2) 親と子の健やかな成長の確保
- (3) 経済的支援の充実

基本目標3 安心してこども・若者が成長できる環境を整備する 【地域づくり】

こども・若者の育成においては、未来を担うこども・若者を地域の宝として尊重するとともに、一つ一つの子育て世帯のみならず地域全体で育てていく意識を醸成し、こども・若者・子育て世帯を厚く支える体制を構築していくことが重要です。

それぞれの子育て世帯に対して、「こども家庭センター」を中心に相談支援・情報提供体制の充実を図るとともに、地域住民や子育て支援団体などの関係主体と連携して取り組む子育て支援策を充実させていきます。また、こども・若者が犯罪や事故の被害に遭うリスクをなくすため、快適・安全・安心に暮らせるまちづくりを推進します。

- (1) 幼児教育・学校教育環境の整備推進
- (2) 相談支援・情報提供体制の充実
- (3) 地域ぐるみで展開する子育て支援策の充実
 - ①子育て世代を中心とした新たな交流の「場」の提供
(「(仮称) 篠原地区公園内子ども体験学習施設」の整備)
 - ②地域で行う子育て支援
- (4) こども・若者を犯罪・事故から守る環境づくり



8 成果指標



●本計画の成果指標

項目	現状値 (令和5年度)	目標値 (令和11年度)
「甲斐市は子育てしやすいまちだと思うか」の設問に「そう思う」「どちらかというと思う」と答えた割合	68.5%	78.3%
『今の社会は「こどもまんなか社会」の実現に向かっていると思うか』という設問に、「向かっている」「どちらかというと思う」と答えた割合	27.6%	63.5%
『こども政策に関して、こどもの意見を聞いてもらえていると思うか』という設問に、「そう思う」「どちらかというと思う」と答えた割合	31.8%	63.0%

基本目標1 全てのこども・若者を尊重し、甲斐市の未来を担う人材へと育てる 【こども・若者への支援】

項目	現状値 (令和5年度)	目標値 (令和11年度)
(1) 子ども・子育て支援給付及び地域子ども・子育て支援事業の充実		
放課後児童クラブ登録児童数	1,528人	1,500人
ファミリー・サポート・センター協力会員数	97人	100人
(2) 「創甲斐教育推進大綱」に基づく教育の展開		
児童生徒一人あたりの図書室で借りた本の平均冊数	小学生 110冊 中学生 15.8冊	小学生 120冊 中学生 30冊
幼稚園・保育園・児童館等への本の貸出冊数	17,644冊	18,000冊
市スポーツ協会加盟競技団体、専門部で実施した初心者教室への参加者数	952人	1,000人
保育園におけるセラピードッグとふれあう機会の提供(年間延回数)	10回	10回
(3) 支援を必要とするこども・若者を支える環境づくり		
健やかサポート会議の実施回数	7回	7回
ヤングケアラーに関する専門職員(コーディネーター)の設置人数	1人	4人
若者定住促進奨学金返還支援制度利用者数(累計)	—	100人
(4) こどもの貧困対策の推進		
「甲斐市子どもの学習支援事業」対象世帯に対する生徒の参加率	23.25%	25.0%

基本目標2 甲斐市の未来を担うこども・若者を育てる保護者を支える 【保護者・子育て世帯への支援】

項目	現状値 (令和5年度)	目標値 (令和11年度)
(1) 結婚・妊娠・出産・子育てへの切れ目ない支援の展開		
婚活イベント参加者のカップリング率	50.0%	55.0%
(2) 親と子の健やかな成長の確保		
にこにこママルーム及び子育て相談室へ参加した産婦数／産婦数	34.1%	40.0%
(3) 経済的支援の充実		
不妊治療費助成の申請者延べ人数	197人	235人



基本目標3 安心してこども・若者が成長できる 環境を整備する【地域づくり】

項目	現状値 (令和5年度)	目標値 (令和11年度)
(1) 幼児教育・学校教育環境の整備推進		
食や健康に関する教室の実施回数	19回	20回
不登校児童・生徒に対するオークルールの在籍率	小学生 11.4% 中学生 11.5%	小学生 18.9% 中学生 19.0%
(2) 相談支援・情報提供体制の充実		
こども家庭センターへの相談件数	—	11,150件
青少年育成カウンセラーの配置人数	3人	3人
公立保育園における日常の保育状況の定期配信	12件	60件
保育園の入所等に係る年間総申請件数に対するオンライン申請数の割合	—	60%
(3) 地域ぐるみで展開する子育て支援策の充実		
子ども体験学習施設利用者数（（仮称）篠原地区公園）	—	56,000人
ラジオ体操事業への参加者数	32,492人	35,000人
(4) こども・若者を犯罪・事故から守る環境づくり		
交通安全教室の実施回数	95回	100回

発行年月：令和7年3月
〒400-0192 山梨県甲斐市篠原 2610

発行：甲斐市 子育て支援課
TEL：055-278-1692 FAX：055-278-2046